



慶應義塾大学出版会 新刊案内

2022

3月



印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



格差と闘え



政府の役割を再検討する

オリヴィエ・ブランシャール（マサチューセッツ工科大学教授）・

ダニ・ロドリック（ハーバード大学教授）[著] / 月谷真紀 [訳] / 吉原直毅 [解説]

【ココに注目！】

- ・サエズ、ズックマンなどピケティの共同研究者をはじめ、世界トップクラスの経済学者を中心に格差論を展開。
- ・格差をなくすための具体的な政策から哲学・政治論まで幅広く議論する。
- ・喫緊の課題である格差への問題意識を共有し、未来への提言を行う。

ピケティ『21世紀の資本』以降、格差をめぐって理想論や抽象的な正義の問題ではなく、具体的な対策が期待されるようになってきた。その役割として政府による政策の力が見直されるようになってきた。世界トップレベルの経済学者を中心に、格差の現状、その弊害から具体的な政策論の意見を闘い合わせたシンポジウムの記録。

税込予価 **3,520 円** 四六版上製 / 384 頁

ISBN 978-4-7664-2805-6 C3033

対象：格差問題に関心のある一般読者

部数：★★★★★

配本予定：3月中旬

【類書】ブランコ・ミラノヴィッチ「資本主義だけ残った」(みすず書房)



書影イメージ

【営業からのおすすめポイント】

格差問題にどんな政策でアプローチしたらよいのか。これまで行われてきた広範にわたる議論を、ピケティの共同研究者のエマニュエル・サエズ、ガブリエル・ズックマン、その他グレゴリー・マンキューやダロン・アセモグルといったトップ経済学者たちの知見を総動員しつつ整理しています。関心を寄せる読者の多い分野ですので、ぜひ積極的なご展開をお願い致します。また、5冊以上ご注文の書店様にはA4サイズパネルをご用意しますので、ご希望の場合は別紙注文欄にてお申込みください。(パネルサイズの変更も承ります。)(福本)

※本書は、2022年2月号にて、3月イチ押し新刊としてご案内を差し上げております。注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。

部数は、★で約500部を表します。



または



地下出版のメディア史

エロ・グロ、珍書屋、教養主義

大尾侑子（桃山学院大学社会学部准教授）〔著〕

🔍 ココに注目！

- ・近代日本の誇る教養主義の「裏通り」を一望！
- ・「低俗」出版文化圏の歴史と「知」への欲望を可視化する。

軟派出版の世界で、道楽知識人たちは国家権力と戯れ、一大文化空間を築いた——。近代日本の教養主義の裏通りとも言える地下出版空間がどのようなものだったのかを体系的に論じ、戦前昭和の軟派出版（いわゆるエロ本、珍書などと呼ばれる出版文化）を初めて学術的に分析する一冊。

税込予価 **4,950 円** A5 判上製／400 頁

ISBN 978-4-7664-2803-2 C3036

対象：メディア論を専攻する研究者・大学院生、
一般（出版文化史に興味のある読者）

部数：★★

配本予定：3 月下旬

📖 類書 安田理央『日本エロ本全史』（太田出版）



返品条件付
注文品

中世ヨーロッパの「伝統」

テキストの生成と運動

岩波敦子（慶應義塾大学理工学部教授）・赤江雄一（慶應義塾大学文学部教授）〔編著〕

🔍 ココに注目！

- ・「伝統」において、何が引き継がれ、何が新しいのか。
- ・キリスト教・イスラーム文化圏を対象として、言葉とモノの伝播を辿る。

テキストという語は「織り上げられたもの textum」という原意をもち、言葉で表現されたものに加え、図像、モチーフ、工芸品なども射程に捉える。それは常に元と同じではありえず、連なりながら新しい「伝統」を紡ぐ。第一線の研究者たちによる論文集。

税込予価 **3,850 円** A5 判上製／320 頁

ISBN 978-4-7664-2819-3 C3022

対象：（中世ヨーロッパ史を専攻する）研究者

部数：★

配本予定：3 月中旬

日本型 IPO の不思議 (仮)

平積み

価格形成の歪みを解き明かす

金子隆 (慶應義塾大学名誉教授) [著]

ココに注目!

- **なぜ日本の IPO は異常にリターンが高いのか?**
- **この問いを定量的に検証し国際比較も交えて、その問題点と改革案を平易に解説。**
- **「新しい資本主義」実現への議論にも一石を投じる書!**

日本の IPO (新規株式公開) 制度では、公募価格で新株を購入した投資家が「高騰」した初値で売り抜き、多大な利益を得る現象がしばしば起こる。しかし、それほど人気の銘柄なら、なぜ公募価格が上がらないのか? そうすれば、上場する企業は、ビジネスを成長させるために、より多くの資金を調達できるはずなのに…。本書はこの“不思議な”現象の原因を明らかにし、日本の成長戦略に不可欠な金融市場改革に一石を投じる。

税込予価 **2,640 円** 四六判並製 / 256 頁

ISBN 978-4-7664-2816-2 C3034

対象: 起業家、中小企業経営者・財務担当者、投資家

部数: ★★★★★

配本予定: 3 月中旬

類書 IPO Forum 編集『この 1 冊ですべてがわかる 経営者のための IPO バイブル (第 2 版)』(中央経済社)

【主要目次】

はじめに——何かおかしい日本の IPO

第 1 部 IPO の基礎知識——歪みを理解するために

- 第 1 章 IPO の仕組み
- 第 2 章 新興企業にとっての IPO
- 第 3 章 IPO の特性

第 2 部 どのように歪みが生じているのか——データの提示

- 第 4 章 現行方式下の日本だけ突出して高いリターン
- 第 5 章 公開価格と初値のどちらに原因があるのか
- 第 6 章 小規模 IPO ほど極端に高くなるリターン
- 第 7 章 不自然なほど低く設定された仮条件

第 3 部 なぜ歪みが生じているのか——原因解明の試み

- 第 8 章 原因解明に向けた準備的考察
- 第 9 章 日本型利益相反仮説
- 第 10 章 仮説の裏付けとなる状況証拠

第 4 部 IPO 改革——歪みの解消に向けて

- 第 11 章 何をどう是正すべきか
- 第 12 章 新興企業も投資家も健全に育つ市場へ

あとがき

新版 大学生が知っておきたい生活のなかの法律

細川幸一（日本女子大学家政学部被服学科教授）〔著〕

🔍ココに注目！

- ・法律は知らない者には味方しない！
- ・大学生のうちに身につけておきたい法律の知識を、学生生活、就職、結婚、老後といったライフステージに分けて解説。
- ・18歳成人に伴う法改正を中心に、大学生に関係する法改正の要点や環境の変化を反映した最新版。

1章6頁・全15章のコンパクトな分量で、生活に必要な法律の基礎知識をライフステージごとに解説する入門書。「アパートの契約」「SNSトラブル」といった大学生活で起こりうる身近な問題から、「結婚生活」「老後の生活」などの今後直面する問題を取り上げる。

税込予価 **1,980 円** B5判並製／112頁

ISBN 978-4-7664-2815-5 C2032

対象：生活に必要な法律の基礎知識を身につけたいと考える大学生

部数：★★★★★

配本予定：3月上旬

関連既刊

大学生が知っておきたい消費生活と法律

定価 **1,980 円** B5判並製／112頁 ISBN 978-4-7664-2569-7 2018年10月

細川幸一 著

法学概論【第2版】

霞信彦（慶應義塾大学名誉教授）〔編〕／原禎嗣（山梨学院大学法学部教授）・神野潔（東京理科大学教養教育研究院教授）・兒玉圭司（国立舞鶴工業高等専門学校人文科学部門教授）・三田奈穂（早稲田大学社会科学総合学術院講師）・高田久実（武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部准教授）〔著〕

🔍ココに注目！

- ・法の世界への「道しるべ」として、法制史・歴史の視点から編まれた入門書。
- ・「法とは何か」「法の種類」といった基本のキを、日本法制史研究者が解説。
- ・現在の法状況に適合するように改訂し、各記述に加筆修正を加えた最新第2版。

法律学を学び、法律を理解するためには、何をすればよいのか？ 法律世界への実践的なアプローチまで踏み込みながら、法律学における共通認識や基礎的事項を理解するための入門書を、法改正をふまえて改訂した最新版。高校で学んだ歴史の知識を出発点に学ぶことができるため、初学者に最適な構成となっている。

税込予価 **1,980 円** A5判並製／204頁

ISBN 978-4-7664-2814-8 C3032

対象：法学部を除く学部で法学を学ぶ学生、法学部1年生・法科大学院未修習生

部数：★★★★★

配本予定：3月上旬

📖 類書 穴戸常寿・石川博康編著「法学入門」（有斐閣）